

社会課題

- 少子高齢化・人口減少の進行
- 中小企業・地場産業の衰退
- 予測困難な時代の到来
- デジタル化・ICT化の進展
- 地球温暖化・気候変動への対応
- 国際化社会・価値観の多様化
- 施設・インフラの老朽化と再編
- 働き方改革・ワークライフバランス...

各主体が抱える課題

●子ども

- 不登校児童・生徒数の増加
- 確かな学力(読解力,応用力)の定着
- 夢や目標を持つ生徒の減少

●保護者・地域

- ひとり親世帯の増加
- 地域コミュニティの希薄化
- 家庭を取り巻く環境の変化・複雑化

近江八幡の特徴(地域資源)

●自然景観

- 「西の湖」・「八幡堀」など水辺の景観
- びわ湖に浮かぶ有人島「沖島」
- 日野川、白鳥川など農業や生活に貸せない豊富な水資源

●農産物・特産品

- 400年以上の歴史を持つブランド牛「近江牛」
- 豊かな水資源と土壌に育まれた「近江米」や近江野菜
- びわ湖・沖島の「湖魚」、「赤こんにゃく」や「丁稚羊羹」などの伝統的食材

国や社会の要請

- 「こどもまんなか」社会の実現(こども家庭庁の設置:令和5年)
- 社会の変化に対応できる人材育成
- 誰一人取り残されない共生社会
- ICTの活用推進、GIGAスクール構想
- 部活動の地域移行
- 教科担任制の導入
- 不登校児童・生徒の学び場の保障

●学校環境

- 施設の老朽化や災害等への対応
- 通学路の安全確保(新興住宅地など)
- これからの時代に対応した教材整備

●教職員

- 教員や保育士の人材不足(部活動・行事,保護者対応など)
- 多様な児童生徒への対応

●歴史・文化資源

- 八幡商人と伝統的町なみ
- ヴォーリス建築と近代的景観
- 「安土城跡」「観音寺城跡」など数多くの史跡

●地域・まちづくり

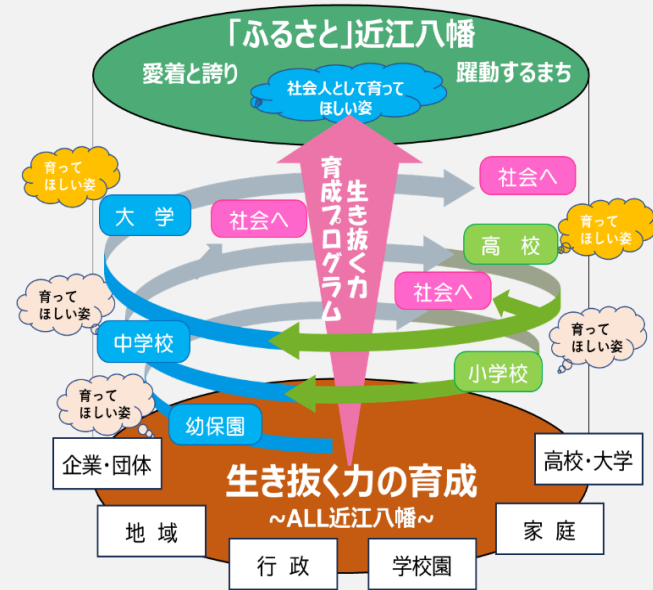
- 「ふるさと学習」など地域に根差した特色ある教育
- 熱心な市民活動や「自治」の精神・「協働」のまちづくり
- 国際親善交流の推進・多文化共生のまちづくり
- 近江商人やヴォーリスから継承された「社会貢献」の精神

教育大綱の基本理念について

【現(第2期)教育大綱の基本理念】

「子ども」が輝き、「人」が学び合い、ふるさとに愛着と誇りをもち躍動する元気なまち 近江八幡
～元気と笑顔の合言葉「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」～

(新)教育大綱が目指す姿



教育大綱に反映・追加したい要素や観点

「生き抜く力」の育成、課題発見能力、教育と福祉との連携強化、好奇心・探究心、主体的な学びを促す生涯学習、多文化共生、デジタル化・ICT化、持続可能な学校園づくり、地域との協働、脱炭素、消費者教育



- 「生き抜く力」とは？どのような力を養うべきか
- 「生き抜く力」のその先にあるものとは？